

講演会

日中学院校友会主催

中国の食文化に影響を与えた

日系コンビニ

講師 何 培勇氏

1960年生。1983年西安外国语大学日本語科卒業。

1990年東京学芸大学大学院修了後、西武百貨店に入社。1997年に上海で上海三明泰格信息技術有限公司を設立。総経理。



日本では「コンビニ文化」ということばが生まれるほど、日々の生活に欠かせない存在になっていますが、何培勇氏は約30年前から中国に進出した日系コンビニなどの小売り業の技術サポートを行ない、基本知識の教育からシステム構築及び商品群の構成支援などを展開してきました。また、中国のチェーンストア協会と『季刊便利店』を創刊し、中国で数多くのコンビニ業界に多大な影響を与えており、コンビニ業界に精通した第一人者と言えます。

講演ではこれまでの氏の経験を交え、日系コンビニの現状や影響力について取り上げます。特に生鮮食品は中国の若者の消費スタイルに影響を与え、ビジネスとしても成立するようになりました。なぜ中国の若者のライフスタイルに影響を与えたのか、具体的な事例や文化的側面を含め、日系コンビニが中国社会に与えた影響について語ります。

日時 2025年12月6日(土) 13:00～15:00

場所 日中学院 302・303教室

会費 200円 当日お支払いください

申し込み方法 お電話もしくは
メールにてお申込みください。

電話 03-3977-4586

e-mail info@rizhong.org